

川越市立霞ヶ関東小学校だより

学校教育目標

# たいよう

【た】 たくましい子

【い】 生き生きと活動する子

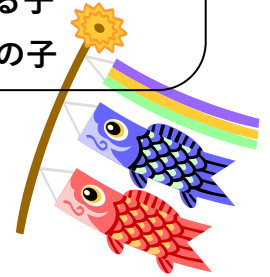
【よ】 よく考える子

【う】 美しい心の子

第2号 令和5年4月28日(金)

## げんきいっぱい 太陽の子

校長 山崎 紀子



薫風に若葉がそよぐ美しい季節を迎えました。

学校ボランティアさんが整えてくださっている花壇の花も、今を盛りとばかりに咲き誇り、まるで、新しい学級で新しいお友だちと頑張る霞ヶ関東小学校の子どもたちを温かい笑顔で応援してくれているかのようです。

先日、今年度初めての授業参観・保護者会を開催いたしました。ご多用の中、多くの保護者の皆様にご来校いただき、誠にありがとうございました。

毎朝、登校班で多くの見守りボランティアさんに支えていただきながら、子どもたちは班長さんを先頭にきちんと1列歩行で登校してきます。

毎朝、正門で交わす子どもたちの元気な「おはようございます」のあいさつと明るい笑顔に、私も元気をいっぱい充電してもらっています。本校の太陽の子たちは今日も元気いっぱいです。

### 「太陽の子（心豊かな子）の育成」

本校の教育目標は「太陽の子（心豊かな子）の育成」です。

急激な変化における予測困難な社会においても、「多様な人々と協働しながら、自己実現に向け新たな価値を創造していく力」を持った、「太陽の子（心豊かな子）」の育成を目指し、日々の教育活動を行っています。ところで、「多様な人々と協働しながら、自己実現に向け新たな価値を創造していく力」とは、どのようにして育つのでしょうか。人は、経験した事について主体性を発揮しやすくなります。学習でも生活でも、様々な成功や失敗の経験を積み上げていく中で、心の豊かさや人としてのたくましさや身についていくと考えています。小学生の子どもたちは、今、まさに、いろいろな経験を積み、将来、社会の中で主体性を発揮する準備をしています。特に、友だちとの関わりは、心の豊かさや人としてのたくましさや身につけるための大切な経験です。子どもたちは、生活をより楽しくしたり、問題を解決したりするためにたくさん話し合い、自分たちで折り合いをつけようと、よりよい方法をさがります。時には子ども同士のトラブルも発生しますが、それを乗り越える経験をしながら大きく成長していきます。友だちとの関わりからは、楽しさや嬉しさだけでなく、悔しさや我慢も数多く経験することでしょう。トラブルや困難を自分たちの力で乗り越えながら、生きていく上での心の豊かさやたくましさや身につけていけるよう、背中を少し押してあげることが私たち大人の役割だと考えています。子どもがトラブルや困難を乗り越えようとする姿を、急激に変化していく予測困難な時代を力強く生き抜くための力をつけている真最中なのだと温かく俯瞰する目で見守ることもとても大切なことなのだと思います。

今年も、子どもたちが楽しみにしている、ゴールデンウィークが始まります。

事故等にあうことなく、ゴールデンウィーク明けには霞ヶ関東小学校の太陽の子たちがみんな揃って元気な笑顔で学校に戻ってくることを心から願っています。